



**香港特別行政区政府 駐東京経済貿易代表部 首席代表
欧慧心（ウィンサム・アウ） Winsome AU**

欧慧心（ウィンサム・アウ）は2023年4月、香港特別行政区政府 駐東京経済貿易代表部（香港経済貿易代表部）首席代表に着任した。香港特別行政区政府の首席代表として、香港と日本の経済・貿易関係、相互理解と協力、また文化や観光面での交流を深めることを使命としている。

公務における職歴

アウ氏は1998年、香港大学を卒業後すぐに香港特別行政区政府の政務職に就いた。公務員としてのキャリアの中で、アウ氏はレジャー文化サービス局に勤務し、世界一の都市およびイベント中心地としての香港の発展に相応しいレクリエーションと文化サービスを促進。その後、香港特別行政区政府の命によりアジア太平洋経済協力（APEC）に出向し、事務局で財務責任者を務める。シンガポールでの3年間の任期を終え、2010年に香港に戻ってからは、工業貿易局で香港と中国本土の通商関係を担当した。また、中国本土－香港間の経済貿易緊密化協定（CEPA）の交渉と実施を主導し、両地域間の貿易自由化および円滑化を進めた。2017年には2017～18年度政府予算案を発表する予算演説の作成において財政長官を補佐し、予算法案の立法会通過を推し進めた。

香港経済貿易代表部首席代表に着任する前、アウ氏は運輸物流省首席助理秘書長（運輸担当）を務めており、航空協定の交渉を主導して香港の航空ネットワークを拡大するとともに、香港空港管理局の空港サービス改善業務を監督し、世界的な国際航空ハブとしての香港の地位の確立、強化を図った。